英検準2級プラス 第1回 解説

1 短文の語句空所補充

(1) 正答 1

convert

convert A into B = AをBに変える。駅を博物館に変える計画。borrow = 借りる、invite = 招待する、cancel = 取り消す。

文意：その町は古い駅を小さな博物館に変える予定だ。来館者は地元の鉄道の歴史を学べる。

(2) 正答 3

permission

ask ... for permission = 許可を求める。写真の所有者に掲載の許可を得る文脈。attention = 注意、direction = 方向・指示、competition = 競争。

文意：「この写真を学校新聞に使ってもいいですか」「まず撮影者に許可を求めるべきです。写真の権利は彼女にあります」

(3) 正答 2

damage

damage = 損害・被害。嵐の後の屋根や窓の被害を調べている。purpose = 目的、advice = 助言、balance = 均衡。damage はこの意味では不可算名詞。

文意：安全担当者は嵐の後に建物を調べた。幸い、屋根や窓に深刻な被害はなかった。

(4) 正答 4

replaced

replace A with B = AをBに取り替える。読みにくい看板を大きなものに交換した。describe = 描写する、compare = 比較する、refuse = 断る。

文意：新しい看板は道路から読みにくかったため、店主はそれをもっと大きなものに取り替えた。

(5) 正答 1

available

available = 利用できる・空いている。2人とも参加できる空席が2つ残っている。familiar = よく知っている、ancient = 古代の、nervous = 緊張した。

文意：「午後の料理教室にまだ参加できますか」「はい。空きが2つあるので、2人とも参加できます」

英検準2級プラス 第1回 解説

1 短文の語句空所補充

(6) 正答 2

comfortable

comfortable = 快適な。よく眠れてくつろげたことが根拠。dangerous = 危険な、ordinary = 普通の、independent = 独立した。

文意：ホテルの部屋は小さかったが、とても快適だった。よく眠れ、滞在中はくつろげた。

(7) 正答 3

entrance

entrance = 入口。中に入る前に待ち合わせる場所。climate = 気候、surface = 表面、material = 材料。

文意：ガイドは来訪者に庭園の入口で待つよう頼んだ。中に入る前にそこで会う予定だった。

(8) 正答 4

decision

make a decision = 決定する。別の町の仕事を引き受けるかを、まだ決めていない。schedule = 予定、suggestion = 提案、population = 人口。

文意：「お兄さんは別の町の仕事を引き受けますか」「まだ最終決定をしていません。家族と相談したいそうです」

(9) 正答 1

promptly

promptly = すぐに・迅速に。not ... wait long
が手がかり。rarely = めったに ~ ない、secretly = ひそかに、previously = 以前に。

文意：救助隊は連絡を受けるとすぐに到着したため、道に迷ったハイカーたちは長く助けを待たずに済んだ。

(10) 正答 3

support

support = 支援する。地元農家から買うことが農家の支援になる。measure = 測る、separate = 分ける、predict = 予測する。

文意：そのレストランは地元の農場から野菜を買う。これは農家を支援し、お金が地域で使われ続ける助けになる。

英検準2級プラス 第1回 解説

1 短文の語句空所補充

(11) 正答 2

get in touch with

get in touch with = 連絡を取る。用紙の発注を頼むために連絡する。get over = 乗り越える、look forward to = 楽しみにする、keep away from = 近づかない。

文意：「プリンターの用紙がほとんどありません」「事務の責任者に連絡して、追加注文を頼みます」

(12) 正答 4

prevented

prevent A from -ing = Aが ~ するのを妨げる。大雨で外遊びができなかった。prepare = 準備する、invite = 招待する、compare = 比較する。

文意：子どもたちは公園に行きたかったが、大雨のため外で遊べなかった。

(13) 正答 3

on my own

on my own = 自分一人で。No が「誰かに手伝ってもらった？」への否定になっている。on purpose = わざと、by chance = 偶然、in advance = 事前に。

文意：「この木の椅子を作るのを誰かに手伝ってもらいましたか」「いいえ。週末を何度か使いましたが、一人で作りました」

(14) 正答 1

up

look up = 調べる。代名詞を目的語にすると look it up の語順。look after = 世話をする、look over = ざっと調べる、look through = 目を通す。語義を辞書で調べるので up。

文意：その単語の意味が分からなかったので、オンライン辞書で調べた。

(15) 正答 4

a maximum

a maximum of ... = 最大で...。部屋が小さいため、参加できるのは最大12人。as a result = その結果、at a distance = 離れて、in a hurry = 急いで。

文意：クラブには小さな部屋しかないため、各講習に参加できるのは最大12人である。

英検準2級プラス 第1回 解説

1 短文の語句空所補充

(16) 正答 2

up

pick up = 車などで迎えに行く。駅へ妹を迎えに行く文脈。pick out = 選び出す、pick off = 一つずつ取り除く、pick away = 少しずつ取り除く。

文意：「今日は会議を早く退出する必要がありますか」「はい。4時に駅へ妹を迎えに行かなければなりません」

(17) 正答 3

even if

even if = たとえ ~ でも。悪天候でも原則実施し、激しい嵐だけが中止条件。as soon as = ~ するとすぐ、so that = ~ するために、now that = 今や ~ なので。

文意：天候が完全によくなくても、その徒歩ツアーは実施する。中止するのは激しい嵐の場合だけである。

解き方の確認

空所の前後を一つのまとまりとして読むことが大切です。(16)では pick up、(17)では後ろの「激しい嵐だけが中止条件」という内容が手がかりになります。意味だけでなく、必要な前置詞や接続の関係も確認しましょう。

2 長文の語句空所補充

A Different Kind of Library

(18) 正答 2

complete occasional tasks without buying every item

第1段落。たまにしか使わない高価な道具を共同利用することで、各自が全て購入する必要がなくなる。1の住宅売却、3の学習回避、4の永久保有は述べていない。

(19) 正答 4

As a result

不備で作業を終えられない利用者がいた「結果として」、点検と短い説明書を導入した。As a result = その結果。対比や例示ではない。

(20) 正答 1

providing care as well as sharing things

第3段落。返却後の清掃・修理・破損報告が必要なので、共有するだけでなく手入れも必要。高価な新品の寄付を全員に求めるとも、初心者排除とも述べていない。

段落ごとの内容

第1段落：図書館に行く人は普通、本を借りると考える。しかし、家具修理の道具や衣服を作る機械などを貸す地域団体もある。1回の作業にしか使わない場合、買うと高くつく。共同利用なら全ての道具を購入せずに作業ができ、めったに使わない大きな物を家に置く必要も減る。

第2段落：架空の町フェアブルックでは、ボランティアが地域の集会所の隣に道具の図書館を開いた。最初は寄付品をすぐに貸したが、部品不足や分かりにくい説明書があり、作業を終えられない人もいた。その結果、点検と短い説明カードを導入し、経験者が初心者に安全な使い方を教えるようにした。

第3段落：人気の道具は事前予約制だが、いつでも貸せるとは限らない。返却後の清掃や修理が必要な物もある。共有と手入れの両方が大切なので、問題を記録し、借り手にも破損を隠さず報告するよう求める。目的は貸出数を増やすだけでなく、次の人も道具を使える状態に保つことである。

2 長文の語句空所補充

Finding Your Way Through a Building

(21) 正答 3

giving useful directions at the points where choices are made

第1段落後半。一度に全経路を覚えさせるのではなく、判断する地点ごとに必要な方向を示す働き。部屋そのものの移動は扱っていない。

(22) 正答 2

appeared after visitors needed to make a choice

第2段落。次の看板は分岐点より先にあり、読む前に方向を決めなければならなかった。文字の小ささが原因ではないと明記されている。

(23) 正答 2

At the same time

絵は有益だったが、同時に文字も残したという補足。At the same time = 同時に。絵の導入が文字の撤去を意味しないことを、後ろの曖昧さの説明が支える。

段落ごとの内容

第1段落：地図は建物内の部屋の位置を示すが、1つの部屋へ急いで行きたい人にとって、全体図が最も簡単とは限らない。現在地と進む方向を判断する必要があり、細かすぎる地図では時間がかかる。経路上の案内なら、選択地点で必要な方向を示せる。

第2段落：架空のスポーツセンターでは、大きな地図が入口にあっても、新しい来訪者がプールへの道をよく尋ねた。初めて来た人と歩くと、次の看板が分岐点の先にあると分かった。文字が小さいのではなく、方向を決めた後でしか情報を読めなかったので、分岐前に看板を移した。

第3段落：その後、案内の文字の横に簡単な絵を加えた。子どもや現地の言語を十分に読めない人に役立ったが、同時に文字も残した。似た道具を使う活動では絵だけだと曖昧だからである。初めての人が止まったり引き返したりする場所を観察し、常連が気付かなくなった問題を見つけた。

3A Eメールの内容一致

(24) 正答 3

第1段落。生徒はすでに栽培経験があり、improve the soil（土をよくする）ことを学びたい。初めて野菜を育てるという1は経験を取り違えている。

(25) 正答 1

第2段落。昼食と水を持参する。手袋と道具は農場が用意し、カフェはない。bring と provide の主語を区別する。

(26) 正答 4

第3段落。教材準備のため、最終人数を4月3日までにメールする。支払いは到着時なので1は時期が異なる。

メールの内容

第1段落：学校の園芸クラブの訪問予約へのお礼。訪問日は4月17日（金）。生徒は学校ですでに野菜を育てており、土の改善を学びたい。農場のスタッフが、落ち葉を使って野菜畑に加える材料をどう作るか説明する実習を用意した。

第2段落：9時30分に正門へ到着し、実習は10時から昼食前まで。地面がぬれている可能性があるため、古い服と丈夫な靴を着用する。手袋・道具は農場が用意する。カフェがないため、昼食と水は各自持参する。悪天候なら来訪者用の建物内で食事ができる。

第3段落：2人の参加が未確定でも、今すぐ決める必要はない。ただし材料準備のため、最終人数を4月3日までにメールで知らせる。支払いは到着時。昼食後は短い散策コースを自由に歩き、午後2時に出発する。

日時と役割を整理する

4月3日 = 人数の連絡期限 / 4月17日 = 訪問日 / 9:30 = 集合 / 10:00 = 実習開始 / 14:00 = 出発。持参するのは服装・昼食・水、農場が用意するのは手袋・道具。

3B 説明文の内容一致

A New Purpose for Old School Uniforms

(27) 正答 2

第1段落。まだ使える制服が家庭に残る一方で、別の家庭は新品を買っていた。両者をつないで不要な購入を減らすのが目的。

(28) 正答 3

第2段落。服はたくさんあったが、サイズ表示の欠落や同じ表示でも異なる着用感により、合う服を探すのに時間がかかった。

(29) 正答 1

第3段落。even if they had nothing to donate
とある。寄付と受取を同数にする制度ではなく、修理は試着の条件でもない。

(30) 正答 4

第4段落。仕事のため当日に来られない人がいたことへの対応。イベント廃止や保管場所不足が理由ではない。

(31) 正答 2

第4段落。希望したが見つからなかったサイズを記録し、その情報で次の回収を計画する。単純な総数だけでは需要の不足を把握できない。

論旨

まだ使える制服を集める→サイズが分からず合う物を探しにくい→実寸表示・試着・寄付不要の受取へ→当日来られない家庭への対応と不足サイズの記録。成功は単なる収集数ではなく、実際に使える物を入手できたかで考える。

3B 本文の内容確認

第1段落：架空のメープルヒル校では、同じ型のジャケットを着用する。子どもは成長が速く、まだ使える服でも小さくなる。不要品を家に保管する家庭と新品を買う家庭をつなぎ、無駄な購入を減らそうと、保護者が学校の承認を得て交換会を始めた。

第2段落：最初は種類ごとに長机へ並べたが、サイズ探しに時間がかかった。古い服は表示がなく、同じ表示でも着用感が違うこともあった。品物は十分あったのに、何も持ち帰らない人もいた。数を集めるだけでは不十分だと分かった。

第3段落：次回は実寸を書いたカードを付け、目隠しのついたてを借りて試着場所を設けた。寄付する物がなくても受け取れた。目的は同数交換ではなく、新しい使い手を見つけることだからである。小穴の修理やボタン付けを申し出た保護者もいた。

第4段落：2回目では多くの家庭に役立ったが、仕事で当日来られない人もいたため、予約して利用できる小さな常設の集まりを残した。希望されたが見つからなかったサイズを記録し、次の回収に役立てる。受け取る服の数だけでなく、実際に使える服を探し、入手できるよう助けることが成功の条件だと考えた。

押さえたい表現

in good condition = よい状態で / throughout = ~ の間ずっと / fit = サイズが合う / attach = 付ける / even if = たとえ ~ でも / by appointment = 予約して / depend on = ~ 次第である。

4 英文要約

解答例（29語）

Borrowing electronic library books lets people get books from home outside opening hours. However, using the service can be difficult for readers without suitable devices or an Internet connection.

何を残すか

①図書館の電子書籍を借りる仕組み。②自宅から開館時間外でも本を手に入れられる利点。③機器やインターネット接続がない人には利用が難しいという課題。この3点を25～35語でまとめる。

解答例の意味

図書館の電子書籍を借りれば、開館時間外でも自宅から本を入手できる。しかし、適切な機器やインターネット接続のない読者には、そのサービスは利用しにくいことがある。

まとめ方

本文の can download ... without visiting を get books from home と言い換え、when the library is closed を outside opening hours と短くした。後半は However で課題へつなぐ。賛否や本文にない健康上の話題を追加しない。

本文の内容

公共図書館の電子書籍は、電話機などへダウンロードして図書館へ行かずに読める。閉館中でも自宅から借りられ、遠方の人にも便利。一方、ダウンロードには適切な機器とネット接続が必要で、それらを持たない読者への配慮も求められる。

5 英作文

Do you think it is a good idea for schools to have events where students teach each other their skills?

賛成の解答例（54語）

Yes, I think it is a good idea. First, students can learn useful skills from classmates, such as drawing or repairing simple things. Second, teaching others helps students become more confident. They have to explain their ideas clearly. These events can also help students get to know classmates they do not usually talk to.

反対の解答例（54語）

No, I do not think it is a good idea. First, students may not know enough to teach some skills safely, especially when tools are needed. Second, preparing lessons can take time away from their own studies. Schools should invite experienced teachers instead and let students enjoy learning without the extra responsibility of teaching.

理由の組み立て

賛成例：①同級生から役立つ技能を学べる。②教えることで自信が付き、明確に説明する練習になる。反対例：①道具などを安全に教える知識が不十分なことがある。②準備が自分の勉強の時間を使う。どちらの立場でも、質問に答えたうえで異なる理由を2つ示す。

最終確認

50～60語を目安にする／立場を明示する／理由を2つ示す／理由に短い具体例を加える／主語と動詞、単複、綴りを確認する。